

令和元年度
東濃西部広域行政事務組合
一般会計、特別会計歳入歳出
決算審査意見書

東濃西部広域行政事務組合監査委員

東 広 監 第 2 号
令和 2 年 7 月 6 日

東濃西部広域行政事務組合
管理者 多治見市長 古川 雅典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

尾関 恵一

監査委員

大久保 京子

令和元年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和元年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 令和2年6月25日

2 審査の対象

- (1) 令和元年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和元年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和元年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和元年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和元年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和元年度東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和元年度東濃西部地域消費生活相談事業特別会計歳入歳出決算
- (8) 令和元年度東濃西部広域行政事務組合財産状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

令和元年度における当組合の7会計の決算総額は、歳入312,273,793円、歳出299,321,469円、歳入歳出差引額は12,952,324円で、主なものとして、東濃西部ふるさと活性化基金特別会計で2,867,826円、東濃看護専門学校事業特別会計で2,622,588円となっている。主歳入財源である各市負担金については、総合計が162,211,000円で、全体の51.95%を占めている。

(1) 東濃西部広域行政事務組合一般会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

一般経費負担金として30,146,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
12,489,000	8,219,000	9,438,000	30,146,000

第2款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、再登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として7,853,770円が収入となっている。

第3款 繰入金

東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計からの繰入として、総務企画課職員3名の平均給料月額346,000円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として2,064,087円が収入となっている。

第5款 諸収入

雑入として、嘱託職員の雇用保険個人負担分等15,550円となっている。

◎ 歳出について

第1款 議会費

当年度組合議会は、定例会2回が開催されている。歳出総額は125,013円のうち、主な支出は議員報酬の117,000円であった。

第2款 総務費

歳出総額は30,347,455円となっており、主な支出は一般管理費で、職員等の人件費28,430,489円となっている。

第3款 衛生費

歳出総額は7,850,470円となっており、主な支出は3市への畜犬登録事務交付金が3,566,868円、嘱託職員の人件費が2,857,787円である。

(2) 東濃西部ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

東濃地域消防機能広域化研究会のコンサルティング委託料の負担金として766,000円の予算を計上していたが、平成30年度に引き続き全県一区での消防指令業務共同運用に関する調査・検討を行ったため、負担金が発生しなかった。

第2款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として12,723,919円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として1,655,293円が収入となっている。

第6款 県支出金

美濃焼PR映像(多言語版)制作への県補助金として150,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は4,540,576円となっており、主な支出は自主研修の委託料1,261,162円となっている。

令和元年度広域開催の自主研修の実施結果は次のとおりである。

研修内容	対象	受講者数
再任用職員研修	再任用職員	19名
法制執務研修(基礎)	20代後半～30代職員	22名
公文書作成講座	新規採用職員	28名
法制執務研修(実務)	基礎編を受講した職員	22名
オーナーシップ研修	主査及び係長	20名

第2款 商工費

歳出総額は7,120,810円となっており、主な支出は、東濃中部地区における陶磁器原料資源に関する基礎調査委託料として2,900,000円、観光PRパンフレット増刷委託料として2,750,000円、セラミックバレーPR事業委託料として621,500円となっている。

(3) 東濃看護専門学校事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として 67,193,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
20,864,000	9,202,000	37,127,000	67,193,000

第2款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は 36,493,000 円で、内訳は授業料 33,300,000 円、入学金 2,400,000 円、入学試験料 410,000 円、再試験料 383,000 円となっている。

第3款 財産収入

財産収入は 112,948 円で、内訳は東濃看護専門学校財政調整基金の運用利息が 32,400 円、自動販売機設置に係る建物貸付収入が 80,548 円となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として 1,000,000 円が収入となっている。

第6款 諸収入

諸収入は 11,519,770 円で、主な内訳は、教材実習費 5,550,000 円、施設整備協力金 5,600,000 円となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は 113,696,130 円となっており、主な支出は職員等の人件費 85,345,602 円、非常勤講師、特別講師への謝礼金などの報償費 4,669,780 円、消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費などの需用費 6,648,454 円、施設清掃及び空調設備点検などの委託料 4,711,136 円、管理サーバー更新のための備品購入費 7,302,133 円、実習施設負担金などの負担金・補助及び交付金 3,369,868 円、その他学校運営に係る費用となっている。

(4) 東濃西部少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

教育費負担金として 14,578,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
7,810,000	2,647,000	4,121,000	14,578,000

第2款 繰越金

前年度繰越金として 1,289,744 円が収入となっている。

第3款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として 15,384 円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は14,417,324円で、主な支出は嘱託職員等の人件費8,972,522円、少年指導員費用弁償2,078,740円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

年度	平成30年度	令和元年度	比較
活動回数 (回)	411	408	-3
活動人員 (人)	1,732	1,691	-41
指導人数 (人)	64	54	-10
電話相談 (件)	22 〈21〉	11 〈11〉	-11
面接相談 (件)	1 〈1〉	0 〈0〉	-1
メール相談 (件)	4 〈2〉	2 〈2〉	-2

※ 〈 〉内は相談人数を表す。

(5) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として40,500,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。

(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	中津川市	恵那市	合計
10,860,000	7,560,000	5,160,000	12,360,000	4,560,000	40,500,000

第3款 繰入金

東濃地域医師確保奨学基金からの繰入として53,832,517円が収入となっている。

第4款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として1,200,000円の収入となっている。

第5款 諸収入

医師確保奨学資金貸付金元利収入として200,000円の収入となっている。

第6款 繰越金

前年度繰越金として1,200,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は95,698,880円で、主な支出は奨学生への貸付金45,600,000円、東濃地域医師確保奨学基金積立金41,700,000円、償還金・利子及び割引料として被貸付者の指定医療機関変更に伴う2市間での精算分7,800,000円となっている。

(6) 東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として7,165,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
2,225,000	981,000	3,959,000	7,165,000

第3款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として5,000,000円の収入となっている。

第4款 諸収入

看護師修学資金貸付金元利収入として1,890,000円の収入となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として4,050,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は15,945,000円で、主な支出は修学生への貸付金14,040,000円、各市支出金過年度還付金1,890,000円となっている。

(7) 東濃西部地域消費生活相談事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

総務費負担金として2,629,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
1,852,000	457,000	320,000	2,629,000

第2款 県支出金

消費者行政活性化基金事業費補助金として4,489,838円の収入となっている。

第3款 繰入金

東濃西部ふるさと活性化基金からの繰入として2,438,231円が収入となっている。

第4款 諸収入

雑入として、嘱託職員の雇用保険個人負担分22,742円となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として500,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は9,579,811円で、主な支出は嘱託職員の人件費8,790,200円、弁護士への謝礼金の報償費180,000円、消耗品費などの需用費163,712円となっている。

(8) 東濃西部広域行政事務組合財産状況

1 土地及び建物

土地及び建物は前年度と同様、2,582.81 m²であった。

2 物品（車両のみ）

物品は前年度と同様、小型乗用車3台、軽乗用車1台、小型貨物車2台であった。

3 債権

① 医師確保奨学資金貸付金

平成30年度末現在高 552,600,000 円に 45,600,000 円を貸し付けたが、200,000 円の返還金があり、令和元年度末現在高は 598,000,000 円であった。

② 看護師修学資金貸付金

平成30年度末現在高 48,510,000 円に 14,040,000 円を貸し付け、1,890,000 円の償還に至り、13,950,000 円が償還免除となったため、令和元年度末現在高は 46,710,000 円であった。

4 基金

① 東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は、東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成30年度末基金残高 18,569,537 円に、平成30年度決算剰余金の内 1,542,491 円と、令和元年度の基金運用収入 32,400 円を積み立てた。令和元年度末残高は 20,144,428 円である。

② ふるさと活性化基金

本基金は、東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

平成30年度末基金残高 1,102,855,988 円から、ふるさと会計からの 349,000 円を積み立てた。令和元年度末残高は 1,103,204,988 円である。

③ 東濃地域医師確保奨学基金

本基金は、東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために設置されたものである。

平成30年度末基金残高 12,132,517 円に、各市からの負担金 41,700,000 円を積み立てた。令和元年度で基金を廃止するため、令和元年度貸付額 45,600,000 円、貸付者の指定医療機関変更に伴う市間の精算分 7,800,000 円、事務費他 432,517 円を取り崩した。よって令和元年度末残高は 0 円である。

5 指摘事項

指摘事項は特にないが、要望事項は次のとおりであるので、今後はこれらの事項に留意し、事務に取り組んでいただきたい。

【東濃西部広域行政事務組合一般会計】

狂犬病の怖さを実例も含めて、予防接種の重要性をよく啓発していただくと共に、実数により近づくよう、登録件数の適正化に引き続き努めていただきたい。

【東濃西部ふるさと活性化基金特別会計】

美濃焼振興に対する補助事業について、地域の活性化のために、今後とも効果的な補助を検討し、継続していただきたい。

【東濃看護専門学校事業特別会計】

令和6年度で閉鎖の方針ではあるが、圏域内の准看護学校学生の進学に対する不安解消や、地域医療を担う人材の育成に努めていただきたい。

【東濃西部少年センター事業特別会計】

自転車事故は大きな事故になることもあり、引き続き事故防止や自転車保険の必要性を啓発していただきたい。

また悩みを持つ子ども達が相談しやすくなるよう、相談窓口のPRに引き続き努めていただきたい。

【東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計】

医師を目指す学生にとって経済的な負担を減らすために必要な制度であるため、引き続きPRに努めていただきたい。

【東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計】

看護師の地域定着に有用な制度のため、引き続き利用者が増加するようPRに努めていただきたい。

【東濃西部地域消費生活相談事業特別会計】

相談件数が増えているのは市民のニーズがあるという事なので、市民が相談しやすくなるよう、引き続き相談窓口の周知に努めていただきたい。

また、消費者トラブル未然防止のための事業を引き続き行っていただきたい。